

G20リヤド・サミット

G20リヤド首脳宣言（骨子）

前文

- G20首脳は、多国間協力がこれまでになく必要とされているとの信念の下に結束。
- 強固で、持続可能で、均衡ある包摂的なポスト・新型コロナウイルス感染症時代における世界を形づくることを主導することにコミット。

課題に共に立ち向かう

- G20の経済を成長へと回復させ、全ての人々の雇用を保護し、創出する道へ戻すためのあらゆる努力を惜しまない。
- 開発途上国及び後発開発途上国を支援することを決意。
- 全ての人々による診断・治療・ワクチンへの安価かつ公平なアクセスを確保するためのいかなる努力も惜しまない。
- 「新型コロナウイルス対応ツールへのアクセス加速事業（ACT-A）」イニシアティブとその下のCOVAXファシリティ、並びに特許プール（知的財産権に係る自主的なライセンス供与）を完全に支持。
- 世界経済は部分的に回復しているが、ばらつきがあり、不確実性が高く、新たな感染拡大などのより大きな下方リスクにさらされている。世界経済の回復を支える鍵となる、ウイルスの拡散を抑える緊要性を強調。
- 人々の生命、雇用及び所得を守り、世界経済の回復を支援し、金融システムの強じん性を強化するため、必要とされる間は、全ての利用可能な政策手段を引き続き用いることを決意。
- 国際経済協力における重要なコミットメントや原則を定めるG20行動計画について、10月の更新版と第2次進捗報告書を承認。
- 債務支払猶予イニシアティブ（DSSI）について、その2021年6月までの延長を含め、その実施にコミット。さらに、低所得国における債務脆弱性及び経済見通しの悪化等を踏まえ、ケースバイケースでDSSIを超える債務措置が必要となり得るとの認識の下、「DSSI後の債務措置に係る共通枠組」を承認。
- コロナ危機への対応は、我々の歴史における決定的な瞬間。

強じんて長期にわたる回復の構築

【保健】

- 世界的なパンデミックへの備え・予防・検出及び対応を進めることにコミット。
- パンデミックへの世界的な対応及び支援における、WHO を主とする国連システム及び国連機関の重要なマンデートを強調。
- 「パンデミックへの備え及び対応についての独立パネル」及び「国際保健規則検証委員会」によるパンデミックへの世界的な保健対応の評価の作業に期待。
- よく機能し、価値に根差し、包摂的で、強じん性のある保健システムは、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の達成に向けて極めて重要。
- 途上国における持続可能な保健財源の重要性を再確認。
- ワン・ヘルス・アプローチに基づく薬剤耐性（AMR）及び動物由来感染症への対処等を通じ、感染症及び非感染性疾患への対処における取組を維持。

【貿易・投資】

- 多角的貿易体制を支持することは、今やかつてなく重要。引き続き、自由で、公正で、包摂的で、無差別で、透明性があり、予見可能な安定した貿易・投資環境という目標を実現するために努力し、開かれた市場を維持。
- ビジネス環境を醸成するため、公平な競争条件を確保するよう取り組む。
- 「世界貿易機関（WTO）の将来に関するリヤド・イニシアティブ」の貢献を認識。WTO 改革への継続的な政治的支持を表明。
- 国内、地域内及びグローバルなサプライ・チェーンの持続可能性及び強じん性を高める必要性を認識。
- 過剰生産能力等の構造的問題が負の影響を起し得ることに留意。

【交通及び往来】

- 公衆衛生を守る取組を妨げない形で、人の移動を促進する具体的な方法を引き続き探求。

【国際金融アーキテクチャ】

- 強固で、クォータを基礎とし、かつ十分な資金基盤を有する IMF を中心としたグローバル金融セーフティ・ネットを確保することを再確認。
- 持続可能な資本フローの促進、国内の資金市場の発展を含め、長期金融の強じん性を強化し、成長を支える。

【インフラ】

- 「質の高いインフラ投資に関する G20 原則」に関連する作業を前に進める。

【金融分野の課題】

- サステナブル・ファイナンスの動員及び金融包摂の強化は、世界の成長と安定にとって重要。民間部門の参加と透明性の広がりを歓迎。

- いわゆる「グローバル・ステーブルコイン」とその他の類似の取組に関するFSB、FATF、IMFの報告書を歓迎。更なる取組に期待。

【デジタル経済】

- 連結性、デジタル技術及び政策は、パンデミックへの対応を強化し、経済活動の継続を促進する上で鍵となる役割を果たす。
- データ・フリー・フロー・ウィズ・トラスト（信頼性のある自由なデータ流通）及び越境データ流通の重要性を認識。
- イノベーションとAIへの人間中心のアプローチを推進するための関係者の議論を引き続き推進。

【国際租税】

- 2021年半ばまでにグローバルな合意に基づく解決策に至ることを目指して、残された課題に対処するよう求める。

【腐敗対策】

- 第1回G20腐敗対策閣僚会合を歓迎。パンデミックへの対応において国際的な清廉性を引き続き促進。腐敗を防止し、腐敗と闘うことにコミット。

不平等に対処する包摂的な回復の確保

【持続可能な開発】

- パンデミックによって、貧困をなくし、不平等に対処し、誰一人取り残さないことを確保する取組の加速が、より差し迫って必要とされている。
- 「開発途上国における新型コロナウイルス対応及び復興に向けたG20支援」、「地域連結性のための質の高いインフラに関するG20ガイドライン」及び「持続可能な開発のための資金調達フレームワーク」を承認。
- 持続可能な開発のための2030アジェンダの時宜を得た実施に貢献することにおいて主導的な役割を果たすことを引き続き決意。
- 持続可能な資金調達の選択肢を追求することを含め、アフリカ諸国が危機を克服するために支援を行うことを決意。

【機会へのアクセス】

- 包摂的な成長を促すというこれまでのコミットメントを再確認しつつ、不平等を削減するために引き続き取り組む。

【雇用】

- 特に女性と若者のための人間らしい働きがいのある仕事を促進することの重要性を認識。

【女性のエンパワーメント】

- 女性に不均衡に影響を及ぼすパンデミックがジェンダー間の不平等を拡大させたり、ここ数十年の成果が損なわれたりしないよう取り組む。
- 女性及び女兒のエンパワーメントの重要性を横断的な課題として再確認し、女性が経済成長の重要な推進力であることを認識。

- 指導的地位への女性の昇進のための「女性のエンパワメントと経済参画促進のための民間セクターアライアンス（EMPOWER）」の開始を歓迎。

【教育】

- 危機発生時における教育の継続の重要性を強調。

【観光】

- 旅行・観光部門のパンデミックからの回復を円滑化するために、民間部門を含む関係者と協力して取組を継続。

【移住及び強いられた避難】

- 難民、移民及び強いられた避難民へのパンデミックの影響を軽減し、人道的ニーズへの対応及び根本原因に対処するための共同行動の重要性を強調。

持続可能な未来の確保

【環境、エネルギー、気候】

- パンデミックから回復するに当たり、地球を保護し、全ての人にとってより環境面で持続可能で包摂的な未来の構築にコミット。
- 自主的に、2040年までに土地劣化を50%減少させるという野心を共有。
- 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」で示された、海洋プラスチックごみによる追加的な汚染を削減するとのコミットメントを再確認。
- 経済成長を達成するためエネルギーの安定的で途切れることのない供給を確保するとの決意を強調。
- 排出削減の重要性を認識し、また、システムの効率性及び各国の事情を考慮しつつ、循環炭素経済（CCE）プラットフォームとその4Rの枠組み（リデュース、リユース、リサイクル、リムーブ）を承認。
- 大阪においてパリ協定の実施の決意を確認した同協定の署名国は、その完全な履行についてのコミットメントを再確認。できるだけ高い野心を反映した「国が決定する貢献（NDC）」を通報又は更新するとの国連気候変動枠組条約締約国会合第21回会合（COP21）の要請を想起。温室効果ガスについて低排出型の発展のための長期的な戦略の2020年までの提出の招請を再確認。2020年まで毎年共同で1,000億米ドルを動員するとの目標への先進国のコミットメントを想起。

【農業】

- 食料安全保障及び栄養の課題への対処、食料及び農業のサプライ・チェーンの効率性、強じん性及び持続可能性を強化することにコミット。

【水】

- 安全な水、衛生及び衛生サービスが人間の生活にとり不可欠であり、浄水へのアクセスがパンデミックの克服にとり極めて重要であることを認識。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

- 大規模な公のイベントの延期を通じて人々の健康を守るための取組を評価。人類の力強さと新型コロナウイルスに打ち勝つ世界の結束の証として、来年東京2020オリンピック・パラリンピックを主催するとの日本の決意を称賛。

結語

- 今後は、2021年にイタリア、2022年にインドネシア、2023年にインド、そして2024年にブラジルでG20サミットを開催予定。